

FRIENDS OF GREEN

フレンズ オブ グリーン

緑友会コミュニケーション誌

1998年4月発行

No. 95

佐賀県鹿島市大字納富分2907-1
発行人 松浦 正欣 佐賀県印刷人若楠会
編集人 やまなし印刷若人会



第40回 全国印刷緑友会東京大会

 全国印刷緑友会

緑友会40周年 東京大会開催される

実行委員 大内 靖

”変わろうよ……！緑友”と言うスローガンで、此処今一番トレンドーな場所、東京湾、お台場にあるホテル日航東京ベガスルームに於いて第40回緑友会東京大会が行われました。

スローガンに基づいて、まずイベントの式典から変えていきました。

いつもなら式典を昼過ぎに初めて、次に講演会とそして懇親会という流れでしたが、それでも丸半日が潰れてしまい長い時間を掛けてイベントを行うよりも、夕方から始めて3時間くらいでもっと中味の濃い記念大会が出来ないものかと考えた結果、式典は夕方の午後5時30分から、そして懇親会は夜の6時過ぎからと、全部で3時間という中で行ないました。

また記念講演としまして、日本印刷技術協会最高顧問、塚田益男様の「いかにこの構造変化を乗り切るか！」という演題で、お話しをしていただきました。

そして、5時30分からホテル内のベガスに於いて、520人という大勢の仲間達による記念式典を行いました。

開会の宣言を、印刷同友会の泉 直人君の司会の下に発声し、国家斉唱を全員起立の中で国旗掲揚を神奈川正和会の尾崎君と刷友青山会の釜田君の両名により行われました。

その後、大会実行委員長の芝崎君による挨拶があり、その中で今回大会スローガンなどの趣旨を説明し、最後にこの計画を立てた時は、青島東京都知事が、都市博を中止した時で、その頃はまだこの場所がこんなに人気のあるスポットになるとは夢にも思っていませんでした、ですから此処に来るまで混雑をして大変皆さんにご負担をかけたことを心からおわびいたしますと締めくくりました。

次に松浦正欣 緑友会会長より「今この会がこのようなのは、周りから干渉もされず、自主的で民主的な会として先輩方が育ててくれたおかげではないかと思います」とご挨拶がありました。

そのあと来賓紹介に移り、全日本印刷工業組合連合会会長 野村正道様から始まり、各会の青年会の会長、幹事長の方々をピンスポットにより紹介し、最後に各緑友会35グループおよび関連青年会2グループ、オブザーバー2グループ、岩手青年印刷協議会、千葉県印刷工業会青年部を個人名で司会者より紹介し、全部で520名が参加していることを発表しました。

来賓代表として野村正道様の「これから将来は皆若



い人達が団結をして業界を支えて行ってくれると頼もしく思い業界の前途は明るい」と感想を述べていただきました。

次に日本写真製版工業連合会会長 門脇 宏様の「良い会社を作り延ばし、皆でコミュニケーションを取って、この印刷業界を立派なものとして後世に残して行ってください！」と述べられました。

そして、10年間、過去5人の歴代会長の紹介に移り、松浦会長から一人づつトロフィーを渡されました。

その時のスタイルをアカデミー賞受賞のスタイルで行ったために、登壇するときの音楽を各自、会長をお引き受けになった時に流行ったヒット曲を流しました。

そして、元会長の方々から一言いただき、和やかに楽しく盛大に式典の幕を閉じました。

そのあとすぐに懇親会に入り、乾杯の音頭を第12代会長の作道亮雄様にシャンペンの栓を抜いて、乾杯するという今までの大会にはなかったスタイルで始めました。

そして、グッドナイトベイビーで一世を風靡したキングトーンズのショウタイムを30分くらい見て、次回セミナーの仙台刷親会 中村君達によるPR、また次回青森総会のPRを行い、大会旗の降旗セレモニーの後次回大会の黎明さつみの岩重君達によるPRを行って最後に小宮山副実行委員長の閉会の挨拶とともに委員全員が登壇しお礼の挨拶を述べました。

全国印刷緑友会40周年 東京大会を終えて

実行委員長 芝崎 孝

40周年東京大会に際しましては、お盆前のお忙しい中を全国各地より多数の方々にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

「いつもの大会と同じような気持ちでやればいいんだよ。」という先輩のアドバイスもありましたが、「記念すべき周年行事なので、なんとかいつもと違った大会にしたい」というあせりのような気持ちがプレッシャーとなって胃の痛くなるような日もありました。また、実行委員会が、9グループからなりたっている為か、意見がバラバラになってしまい、どうやってまとめようかと途方に暮れたこともありました。さらには意見のちがいがから、本気で衝突になってしまいハラハラしたこともありました。とにかく色々なことが有りましたが、皆様のご協力により大会も無事に終了することができまして、安堵の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

今大会につきましては、コンセプトを決めるのに多くの時間を費やしました。その結果「変わる」ということが、大会のコンセプトとなりました。ここ数年、世の中の動きが、激しく変わっているにもかかわらず、私たちの対応は全く変わっていないのではないのだろうかという疑問が出発点です。さらに青年の集まりでもあり、また情報文化を扱う者の集まりでもあるにもかかわらず、何も新しい事を生みださず、前回通りというのでは情けないということになりました。例えばセレモニーも、金屏風に松の盆栽の前で表彰状をお渡しするという形はやめました。歴代会長が登壇される時には、会長をなさっていた当時流行していた曲に合わせて登壇していただきました。そして表彰状ではなくクリスタルのトロフィーにさせていただき、アカデミー賞の表彰式のような雰囲気を出そうと試みました。変わることがすべて良いことだとは決して考えてはおりませんが、変えられるところは変えようと努力いたしました。

また今大会のもう一つの考え方として、「時間を短く」ということに努めました。お昼過ぎから夜の8時半までという長丁場では、なかなかテンションが保たず、途中で抜け出す方も出てしまいます。そこで3時半のスタートにこだわりました。そのために式典と懇親会とを時間を区切らずに一緒にやろうということになりました。結果として、食事の時間などが若干短くなってしまいましたが、全体としては進行のテンポも



良くなり、多くの方々に最後まで居ていただく事ができました。

「変化」を追い求めるあまりに、ホテルのロケーションにこだわってしまいご参加いただいた皆様にご負担をお掛けいたしましたこととお詫び申し上げます。また、内容がなかなか煮つまずかず長尾前会長、松浦現会長のお二人には大変心配をおかけいたしましたことを誌上をお借りしましてお詫び申し上げます。さらに利根川元会長には、相談役という形で困った時に色々アドバイスをいただき本当にありがとうございました。そして最後になりましたが、黎明さつまの皆様来年の大会を楽しみにしております。ぜひがんばってください。御成功をお祈りしております。

大会
フット
ライブラリー





大会
ナイト
ライブラリー



第1回

平成9年度 全国印刷緑友会常任幹事会

日時 1997. 7. 12 PM12:00~PM4:00

場所 千代田印刷会館

1. 開会 (江馬氏)

2. 議長選出 (福田氏)

3. 出席の確認 14名参加

4. 議事録作成人指名 (木下氏)

5. 会長挨拶

6. 直前会長挨拶 (長尾氏)

7. 報告事項

8. 審議事項

1. 長野総会事業報告及び決算報告の件 (竹内氏)

長野緑友会40周年記念式典及び長野総会に全国より156名の多数のご参加を頂き、盛大に終えた感謝の挨拶があった。(別紙の通り決算書を承認した。)

2. 仙台セミナーの件 (中村氏)

日 時 平成10年1月31日(土)

場 所 秋保温線「ホテル左勘」

登録代 13,000円・宿泊代 13,000円

内容等については、テーマを決めてテーブル毎にディスカッション方式を行う予定。

タイムスケジュール・アクセス等については東京大会までに案を提出する。

3. 第41回全国印刷緑友会青森総会について

(長尾氏)

日 時 平成10年5月23日(土)~24日(日)

23日(土) PM2:30~ 総会

24日(日) AM6:30~ グループ長会議

場 所 古牧温泉沢沢公園第三グランドホテル

登録料 23,000円(宿泊・懇親会・朝食含)など説明があった。

4. 40周年記念誌特別委員会組織の件

記念誌の委員長に小倉さんに決定した。

作成時間は2年間をかけ作成する。

予算・組織等については、10月の常任幹事会までにアウトラインを提出する。

5. 退会グループの件

扱いについて協議した結果、グループで活動をしていない所、正式に電話・文書などで退会の移行をしめされたグループについては退会して頂くことに決定した。(能登半島印刷人クラブ・福井県印刷青年部会・群馬県青年印刷研究会・久留米印刷緑友会・宮崎印刷はまゆう会)以上5グループ。今後休会・退会の規定を作成して行く。

隣県のグループに入会のアプローチを全員で声をかけることにした。

6. 各簿発行の件

発行予定は1998年3月発刊予定をしている。会員のデータを確認、回収中と報告があった。

(冊 子) 2000冊 @170 338,800円

(CD-ROM) 2000本 @575 1,150,000円

冊子とCD-ROMを1,000円でセット販売する。

7. 協議事項

1. 東京大会準備状況の件について (芝崎氏)

準備状況について報告があった。(別紙)

参加人数の内訳は会員261名・OB9名・同伴者10名で合計280名の登録をいただいておりますと説明があった。

グループ長・常任幹事会

日 時 8月2日(土) 13:00~15:00

場 所 シリウス

二次会については、ホテルの地下のクラブを予定している。5,000円

不参加グループ(佐世保印刷若汐会、大牟田印刷クラブ、新潟県印刷新世会、別府印刷組合青年部、下関青年印刷人緑友会)地区担当の常任が声をかける。

8. 次年度(98' セミナー・99' 総会・99' 大会) 主管グループ決定の件

98' セミナー・未定

99' 総 会・未定

99' 大 会・未定

基本的には東京・名古屋・大阪(太平洋側)ですが以外でもよい。

グループ長の皆様に打診をして、立候補をしたいグループがあれば常任理事会で承認を得て、主管をしていただく。

地域性についてはバランスをとって行く。

イベントについては(別紙)予定表について説明があった。

9. 来年度以降の予算(アンケート結果)の件

緑友会運営についてのアンケートについて

43グループへ提出

23グループが回答

21グループが回答なし

緑友基金・会費値上げ・その他の項について、長尾氏より説明があった。今後、内容等については検討をして行く。

10. その他

要覧について会長より説明があった。

10月の常任幹事会を仙台で(10月17日(金)・18日(土))に決定、前日に緑友塾を開催予定。

以上で議事を終了し、16時00分に閉会した。

第2回 平成9年度 全国印刷緑友会グループ長・常任幹事会

日時 1997. 8. 2 PM1:00~PM3:00

場所 ホテル日航東京

1. 開会 (江馬氏)

2. 議長選出 (小倉氏)

3. 出席の確認

4. 資料の確認

5. 議事録作成人指名 (木下氏)

6. 会長挨拶

7. 直前会長挨拶 (長尾氏)

8. 報告事項

1. 長野総会事業報告及び決算報告の件
2. 仙台セミナーの件
3. 第41回全国印刷緑友会青森総会の件
4. 40周年記念誌特別委員会組織の件
5. 退会グループの件
6. 名簿発行の件

7月12日(土) 第1回常任幹事会を千代田印刷会館で開催し、決定事項6項目について江馬氏より報告・説明があった。

7. フレンズオブグリーンの件で依田氏より説明があった。
8. 会長より常任幹事会開催の時に、緑友塾を今後開催して行きたい案内については、グループ長の皆様にもご案内し、出来るだけグループ長以外の方も参加をしていただきたいと説明があった。

9. 協議事項

1. 名簿発行の件 (棚橋氏)

発行予定は来年3月発刊予定をしている。

冊子とCD-ROMをセット販売する。冊子@170、CD-ROM@575、予算はあくまでも概算の報告があった。発刊までのスケジュール・会員データの未提出グループの説明があった。1セット(名簿+CD-ROM)¥1,000で販売する(別紙)について報告があった。

2. 98年セミナー(99/2)・99年総会(99/5)・99年全国大会(99/8) 主管立候補について

山梨大会でグループ長・常任幹事会の時に、グループ長の皆様方からご意見がありセミナー・総会・大会はどのような形で決定をしているのかとの質問があった。今までは(太平洋ベルト地帯)東京・名古屋・大阪、三地区で主に開催をしていたが現在はこわれている。立候補制にしたかどうかと意見があり、今後は主管をしたいグループがあれば9月20日までに総務の江馬氏までFAXをする。

(99/2 セミナー・99/5 総会・99/8 大会) 現在未定。主管をしたいグループが多ければ常任幹事会で決定をする。

3. 97年仙台セミナーの件 (中村氏)

日時 平成10年1月31日(土)

場所 秋保温泉「ホテル佐勘」

登録費 13,000円

宿泊費 13,000円

テーマは【語りつくそう和】テーブルディスカッション方式で行う。

4. 第41回青森総会について (沢田氏)

日時 平成10年5月23日(土)

場所 古牧温泉沢沢公園 (三沢市)

登録費 23,000円

テーマは【緑の友は、青い森から】 内容については未定。

10. その他グループ長からの報告 (グループ長及び常任報告)

1. 名古屋而立会40周年記念事業についてご案内があった。(佐藤氏)
1. 会費納入について41グループ中27グループ納入済みと報告があった。(山口氏)
1. 東北青年印刷人より御礼の挨拶があった。
1. 長野総会32グループの登録をいただき、156名参加御礼の挨拶があった。(水崎氏)
1. 第15回九州・山口青年印刷人鹿児島大会の案内があった。(岩重氏)
1. トップ印刷人セミナーの件。(大阪印刷人)
1. 道程の複こく版を作ったかどうか。(大鶴氏)
1. 97' 北海道印刷文化典のご案内。(伊藤氏)

11. 講 評 札幌 (伊藤氏)

12. 閉 会

以上で議事を終了し、15時00分に閉会した。

1. 開会 (江馬氏)
2. 議長選出 (外間氏)
3. 出席者の確認
4. 資料の確認
5. 議事録作成人名 (木下氏)
6. 会長挨拶
7. 直前会長挨拶
8. 報告事項
9. 審議事項

1. 仙台セミナー事業計画及び予算承認の件 (中村氏)
事業内容はテーブルディスカッション方式で行う
1テーブル15～16名程度でテーブルリーダーをきめて
各テーブル毎に議題をちがわせる。全体の報告事項は
行わない。アンケート用紙を各グループに発送して集
計をして議題については個人毎にFAXで連絡する。
登録費13,000円 宿泊費13,000円=参加費用合計
1人 26,000円
参加人数については250名の参加を予定している (地
元50名全国190名)
予算については収入755万、支出755万で計画。
タイムスケジュールについては (別紙の通り) 交通ア
クセス等については送迎バスを準備する。
当日の網領唱和は東京の安藤氏に決定。

2. 青森総会事業計画及び予算承認の件
期日 1998年5月23日(土)・24日(日)
場所 三沢市古牧温泉沢沢講演 古牧第3グランドホテル
登録料 23,000円 (宿泊等込み) 登録人数: 120名+
(県印青経30名) = 150名予定
テーマは「緑の友は・青い森から」
スケジュール等は (別紙の通り)
予算について収入445万 支出445万 (別紙の通り)

3. 鹿児島大会の件 (笹山氏)
テーマは「友情をより多く作る交流会」
40周年を迎え更に「修・破・離」(ホップ・ステッ
プ・ジャンプ) の考え方から
【修】: 「和」をテーマとした 仙台セミナー
【破】: 総会にて新規が始まる 青森総会
【離】: 自然の中で音楽に親しみ心身共にリラックス
鹿児島大会
キャッチコピー: 「シンフォニッタかごしま」
登録料については未定
日 程: 平成10年10月3日(土)
(登録受付時間は全国の方が前泊なしで可能な時間)

候補会場:

1. 城山観光ホテル ○登録料約 28,000円
鹿児島で一番グレードの高いホテル
城山からの夜景は絶品
(鹿児島空港よりリムジンバスで60分、西鹿児島駅よ
り車で10分)

2. ホテル京セラ (SPA温泉付) ○登録料約25,000円

世界的な建築家「黒川紀章」氏設計による地上60mの
大アトリウムとスパ
(鹿児島空港より車で15分、九州道満辺ICより車で15分)

3. 霧島観光ホテル ○登録料約 25,000円以下
国立公園霧島の大自然の中でゆったりと温泉気分を満喫
展望浴場、露天風呂、パノラマ温泉などでくつろいで
ください
(鹿児島空港より車で30分、九州道満辺ICより車で30分)

講演会予定:

講師 福田優二氏
電通総合研究所部長・マーケティング研究者
日本のトレンドを作ってきたマスコミ・マーケティ
ングの第一人者
演題「今後の情報産業における広告・マスコミ・印刷
業界の展望」

以上提案があり内容等については今後吟味していただ
いて、次回の常任幹事会に報告する。

4. 98年セミナー開催地の件

仙台セミナーの次は現在の所決まっていなし、立候
補もないので会長より名古屋而立会にお願いしたいと
打診をしている。

5. 99年大会総会開催地の件

現在の所未定で立候補なし、今後各グループに打診を
行っていく。

6. 99年大会開催地の件

広島青年印刷研究会が立候補されていますので主管を
していただくことを承認した。

7. 40周年記念誌発行の件 (小倉氏)

別紙「道程」内容について報告があった。
編集委員長に「大阪」の作道氏にお願いをする。部数
は2000冊を予定している。

8. 全国緑友会東京大会事業報告及び決算承認の件 (安藤氏)

東京大会中間決算報告書 (別紙の通り) 報告があった。
決算書が出来次第最終決算書を報告する。

10. 協議事項

1. 名簿発行の件 (棚橋氏)

進捗状況について (別紙の通り) 説明があった。
インターネットのホームページについては、個人の住
所についてはクローズする。
予算 (案) 冊子・CD-ROMについては承認した。

2. 来年度予算の件

仙台セミナーの後日2月1日(日) 秋保温泉「ホテル佐
勘」で常任幹事会を午前8時～10時まで開催する。予
算に係る資料については会長が準備をして事前に常
任幹事に配布して討議をする。

11. その他

12. 審議事項の確認

13. 前回議事録の承認

14. 講 評

15. 閉 会

第32回トップ印刷人セミナー催す

大阪青年印刷人クラブ（森川耕司会長）主催の「第32回トップ印刷人セミナー」が9月6日、神戸市北区の有馬グランドホテルで開催され、88人が参加した。

同セミナーは、昭和40年7月に「トップ印刷人夏季セミナー」として第1回目が開催されて以来、今回で32回目を迎えたもの。

今回は教学研究委員長・真宗佛光寺派常光寺住職の佐々木英彰氏と、大阪銀行代表取締役頭取の谷口米生氏を講師に招き、青年印刷人の大きな飛躍を図った。

当日は森川会長が冒頭のあいさつで、「景気回復の兆しが見えてきたと言われているが、印刷業界は需要はそれなりにあるものの、対応する印刷産業界に変化が生じているため、景気回復は大企業だけで中小企業にはその実感がない」と述べるとともに、「厳しい環境下ではあるが、企業のリーダーとして常に前向きに仕事に打ち込んで、世の中に役立ち、自分自身も幸せだと感じられる生き方を追求することが必要である」と、出席者に訴えた。

講演は2講開かれ、佐々木氏が「事業開発の思想」を、谷口氏が「なぜ金融ビッグバンか」をテーマに講



演した。

両氏ともに、さまざまな経験と豊かな知識に基づいた講演には変革の時代を乗り越えるためのヒントがあるのではと、多くの参加者が熱心に聞き込んでいた。

この後、同会場で懇親会が開かれた。大阪青年印刷人クラブ副会長の松口 正氏が主催者を代表してあいさつし、全国印刷緑友会会長の松浦正欣氏が祝辞を述べ、前会長の井下精二氏の発声で乾杯した。

第15回九州・山口青年印刷人鹿児島大会

人も大地も燃えている薩摩の地にて鹿児島名物「桜島火山灰」・「大型台風18号」をキッチリ御準備できました平成9年9月13日、九州・山口各県はもとより全国各地から147名の青年印刷人の御参加を頂き、第15回九州・山口青年印刷人鹿児島大会、翌14日に台風接近のベストコンディションの中、第2回九州・山口青年印刷人ゴルフ大会を主管致しました。

まず、準備段階の予定を上回る超大型台風18号の来襲により御参加の皆様にご迷惑・御心配おかけ致しましたこと御詫び申し上げます。

（特に沖縄若潮会の皆様、約1週間のバカンス、河の氾濫等、素晴らしい思い出ができました。）

今大会では文京緑友会「白井慶吾氏」、刷友青山会「逸見節夫氏」両氏の齒に衣を着せない御講演を頂き、九州・山口の青年印刷人は強大な刺激を受け、青年印刷人として今後の友情とたゆまぬ研鑽を誓い合いました。

鹿児島サンロイヤルホテルにてビキニ美女も御出ましのマジック懇親会の後、歓楽街「天文館」にて鹿児島の文化に触れ・飲んで頂き向学心旺盛な方も満足されたこと御聴き致しました。

来る平成10年10月3日（土）第41回全国印刷緑友会



鹿児島大会：生音楽を基調とし霧島温泉郷にて「変革と調和 シンフォニー in 鹿児島」（音楽・人・大自然の融合）を主管致します。やります、感力を刺激します。全国の皆様の御参加を御待ち致します。秋の霧島は素晴らしいです。

文責 ジャンプ荒崎・ラブマシーン岩重

第32回トップ印刷人セミナー催す

大阪青年印刷人クラブ（森川耕司会長）主催の「第32回トップ印刷人セミナー」が9月6日、神戸市北区の有馬グランドホテルで開催され、88人が参加した。

同セミナーは、昭和40年7月に「トップ印刷人夏季セミナー」として第1回目が開催されて以来、今回で32回目を迎えたもの。

今回は教学研究委員長・真宗佛光寺派常光寺住職の佐々木英彰氏と、大阪銀行代表取締役頭取の谷口米生氏を講師に招き、青年印刷人の大きな飛躍を図った。

当日は森川会長が冒頭のあいさつで、「景気回復の兆しが見えてきたと言われているが、印刷業界は需要はそれなりにあるものの、対応する印刷産業界に変化が生じているため、景気回復は大企業だけで中小企業にはその実感がない」と述べるとともに、「厳しい環境下ではあるが、企業のリーダーとして常に前向きに仕事に打ち込んで、世の中に役立ち、自分自身も幸せだと感じられる生き方を追求することが必要である」と、出席者に訴えた。

講演は2講開かれ、佐々木氏が「事業開発の思想」を、谷口氏が「なぜ金融ビッグバンか」をテーマに講



演した。

両氏ともに、さまざまな経験と豊かな知識に基づいた講演には変革の時代を乗り越えるためのヒントがあるのではと、多くの参加者が熱心に聞き込んでいた。

この後、同会場で懇親会が開かれた。大阪青年印刷人クラブ副会長の松口 正氏が主催者を代表してあいさつし、全国印刷緑友会会長の松浦正欣氏が祝辞を述べ、前会長の井下精二氏の発声で乾杯した。

第15回九州・山口青年印刷人鹿児島大会

人も大地も燃えている薩摩の地にて鹿児島名物「桜島火山灰」・「大型台風18号」をキッチリ御準備できました平成9年9月13日、九州・山口各県はもとより全国各地から147名の青年印刷人の御参加を頂き、第15回九州・山口青年印刷人鹿児島大会、翌14日に台風接近のベストコンディションの中、第2回九州・山口青年印刷人ゴルフ大会を主管致しました。

まず、準備段階の予定を上回る超大型台風18号の来襲により御参加の皆様は御迷惑・御心配おかけ致しましたこと御詫び申し上げます。

（特に沖縄若潮会の皆様、約1週間のバカンス、河の氾濫等、素晴らしい思い出ができました。）

今大会では文京緑友会「白井慶吾氏」、刷友青山会「逸見節夫氏」両氏の齒に衣を着せない御講演を頂き、九州・山口の青年印刷人は強大な刺激を受け、青年印刷人として今後の友情とためめ研鑽を誓い合いました。

鹿児島サンロイヤルホテルにてビキニ美女も御出しのマジック懇親会の後、歓楽街「天文館」にて鹿児島の文化に触れ・飲んで頂き向学心旺盛な方も満足されたこと御聴き致しました。

来る平成10年10月3日（土）第41回全国印刷緑友会



鹿児島大会：生音楽を基調とし霧島温泉郷にて「変革と調和 シンフォニー in 鹿児島」（音楽・人・大自然の融合）を主管致します。やります、感力を刺激します。全国の皆様の御参加を御待ち致します。秋の霧島は素晴らしいです。

文責 ジャンプ荒崎・ラブマシーン岩重

おおぼら 大法螺吹きの師走のひとり言

黎明さつま

協業組合ユニカラー

岩重昌勝

大変な時代である。十年に一度あるかないかぐらいの事件、事故等枚挙に暇がない。特に経営者の端くれを自認している（人は色々言うだろうが、まあいい）拙者にとって、一連の金融破綻に伴う国内情勢の今後には憂慮を禁じ得ない。漸く認めた感のある政府の景気見通しを会話調に置き換えて表現すれば「前からそうだったんだけど、すごく悪いよね、先は全く見えないし、もっと悪くなるよ。金融機関すら見捨てざるを得ない状況だから中小零細企業に至ってはどうしようもないんじゃないの。」という具合でしょうか。

これらの状況で印刷業界が抱えるデジタル化への転換スピードが減速するとは思わないが大型投資は控えたほうが良さそうである。とにかく今回のエッセイ執筆にあたりテーマに困ることはなかったわけである。（内容の出来、不出来は別として・大きなお世話である）。だが混迷を極める経済の話をしようが迷走している政治の話であろうが、もっとグローバルに地球環境汚染（CO₂等による温暖化、核廃棄物処理問題等）についての考察を論じようが、読者諸兄におかれては耳に蛸、鼻に鳥賊（とは言わないなあ・まあいい）であろう。又それらの論評を纏めても世間のイメージとして拙者のキャラクターではないし（本人の自己分析と世間のそれとはギャップがあるのよねー。理由は解らない）、もっと言えば拙者に期待していることではないだろう。拙者は大いに不満であるが、まあいい。前置きがながくなったがディナーショーに行ってきた。12月14日であった。なんとこの原稿締切が本日、即ち12月15日なんですよ。而立会のホープ、いや緑友会の至宝（ちょっと褒め過ぎか・棚ちゃん、なんか奢れよ）と言われる、キングコーポレーション（業界外の人が聞いたら、直訳で王様株式会社か王様共同体だよな・まあ偉そうに・ごめん、失礼）の専務様であられる棚橋君（彼と拙者は同じ歳、どっちが若い、老けてるは見解の分かれる所だが女性にもてるのは当然拙者であろう！）から回され、山梨の少国民社専務である依田君（彼のイメージから会社名はずっと小国民社と思っておりました・堪忍して）から依頼されてだいぶ経つのに、この有様。・・・話を戻す、ディナーショーに行ってきた。“布施明”であった。内容はというと“プロフェッショナル”の一語に尽きる。拙者も生業は違うにしろ、男子たるものかくありたいと思った。ところで、かの布施明氏がスピーチの中で面白いことを言った。曰く、音楽業界は隠れたバブル状態である。特にシングルCDにいたってはミリオンセラーが次

から次に出ている。なぜならちゃんとした理由があるとのこと。シングルCD購買層は、はっきりしていて小学5年生から高校1年生までらしい。この年齢層が全国で150万人いるとのこと。彼ら、彼女らは毎月1枚は必ずシングルCDを購入するのだそうだ。であるから群集心理にハマれば、毎月ミリオンセラーが出ることとなるわけだ。拙者もミーハーの端くれである（こら、そこで笑うな！！）。年齢層は全然違うが、最近は毎月2枚はアルバムCDを購入する。読者諸兄も似たり寄ったりでしょう。CDを知らないと言われる諸兄は、この際無視します。ここから先は読まないで下さい。話を戻すが、時代のトレンドというものは音楽が何らかの影響を与えているように思う。音楽を受け入れた150万人の「お子ちゃま」達が、そのメロディー、メッセージを咀嚼しトレンドを生み出していく。これら「お子ちゃま」達の一番隊郡が7年後には娑婆にデビューするのである。デジタル完全武装した彼らが娑婆を闊歩しだす前に、我が印刷業界は転換出来ているのか否か。とにかくアナログ社会からデジタル社会への転換点に立っている拙者等は、産みの苦しみの中にいるわけだ。どうせ産んでしまわねばならないものであれば、いや産まれてくるものであるのなら、早いほうがいいですよ。夜泣をしたり、むずがったり、手がかからなくなる迄は大変だけど偶には反抗して口もろくにきかなくなったりして心配もするだろうが、必ずや逞しく育ち助けになることでしょう。ということは緑友会というところは産院ということか？・・・

初産で不安一杯の人、もう何人目かで余裕韓々の人、中にはいろんな理由からおろす人もいるだろうし。全国に46の産院があって、現在通院中の方が1300人程いるってわけか。それら産院の中には優秀なスタッフと最新鋭の機器に恵まれて、安心して任せられる処もあれば、そうでない処もある。常任幹事並びにグループ長の諸兄、御身の処は良い産院でしょうか？・・・ト書がやたら多い文章で読みづらいことこの上なかったと存じますが、吉田兼行の「徒然草」みたいにはいきませんよ。誰だ「とぜんそう」と呼んだのは！！・・・まあいい。皆さん41回全国鹿児島大会でお会いしましょう。

次回の担当は

荒崎 誠君（黎明さつま）
（有）垂水中央印刷
鹿児島県垂水市栄町53
TEL (0994) 32-0315
FAX (0994) 32-0107